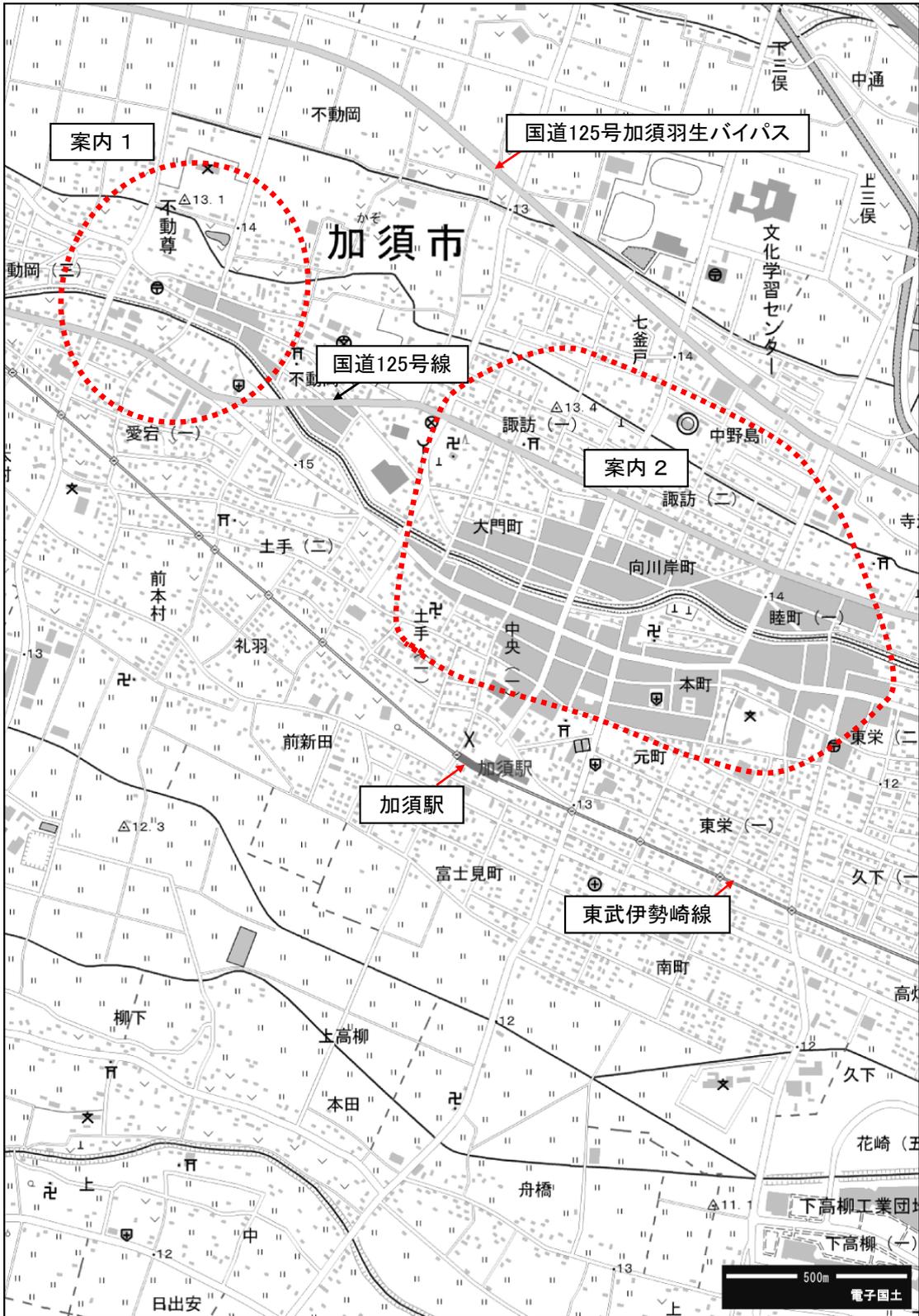


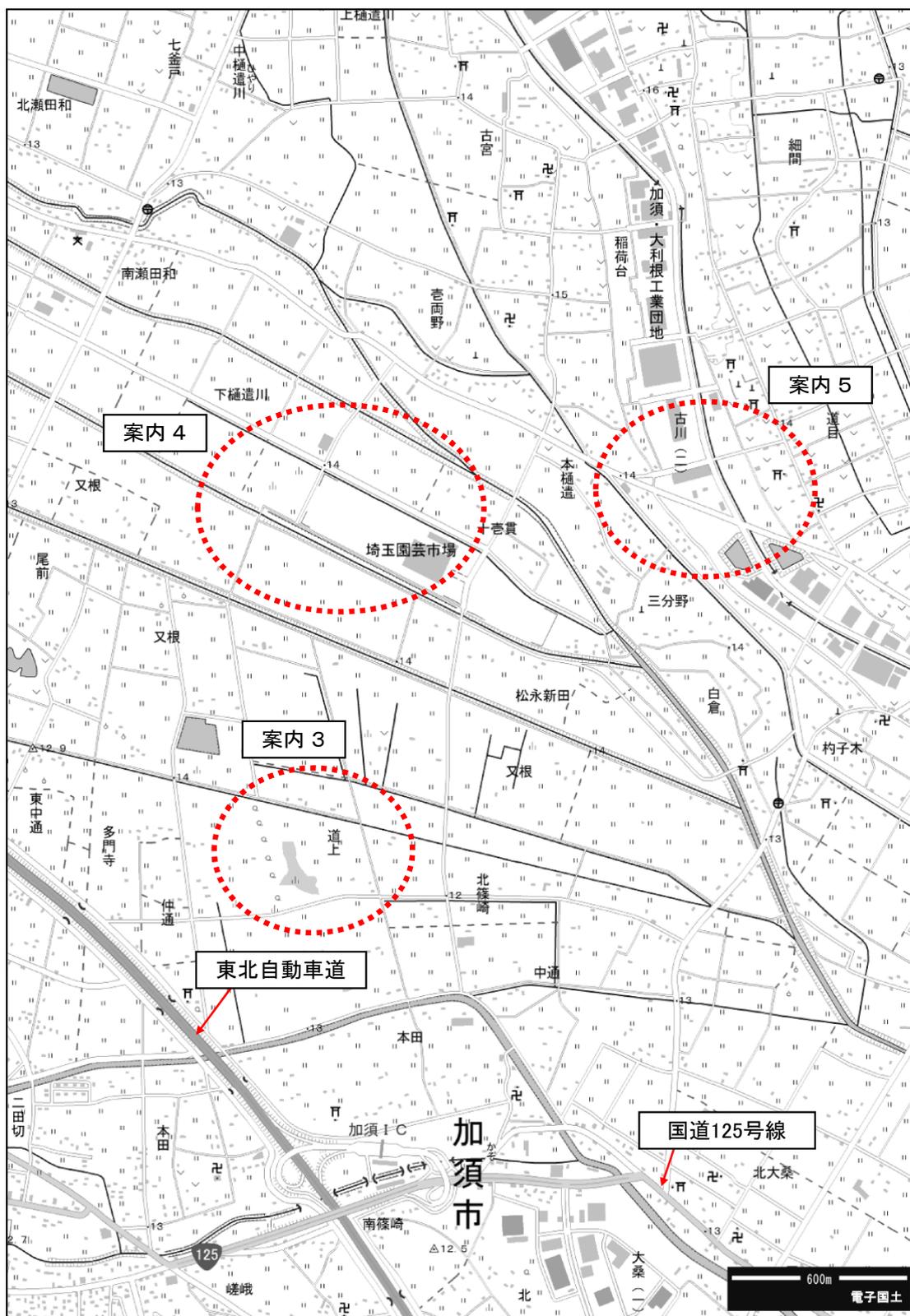
# 加須



案内図

 調査範囲

# 加須



案内図

 調査範囲



加須



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

# 加須



## 凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

加須



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

加須



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他



加須



凡例



史跡・寺社等

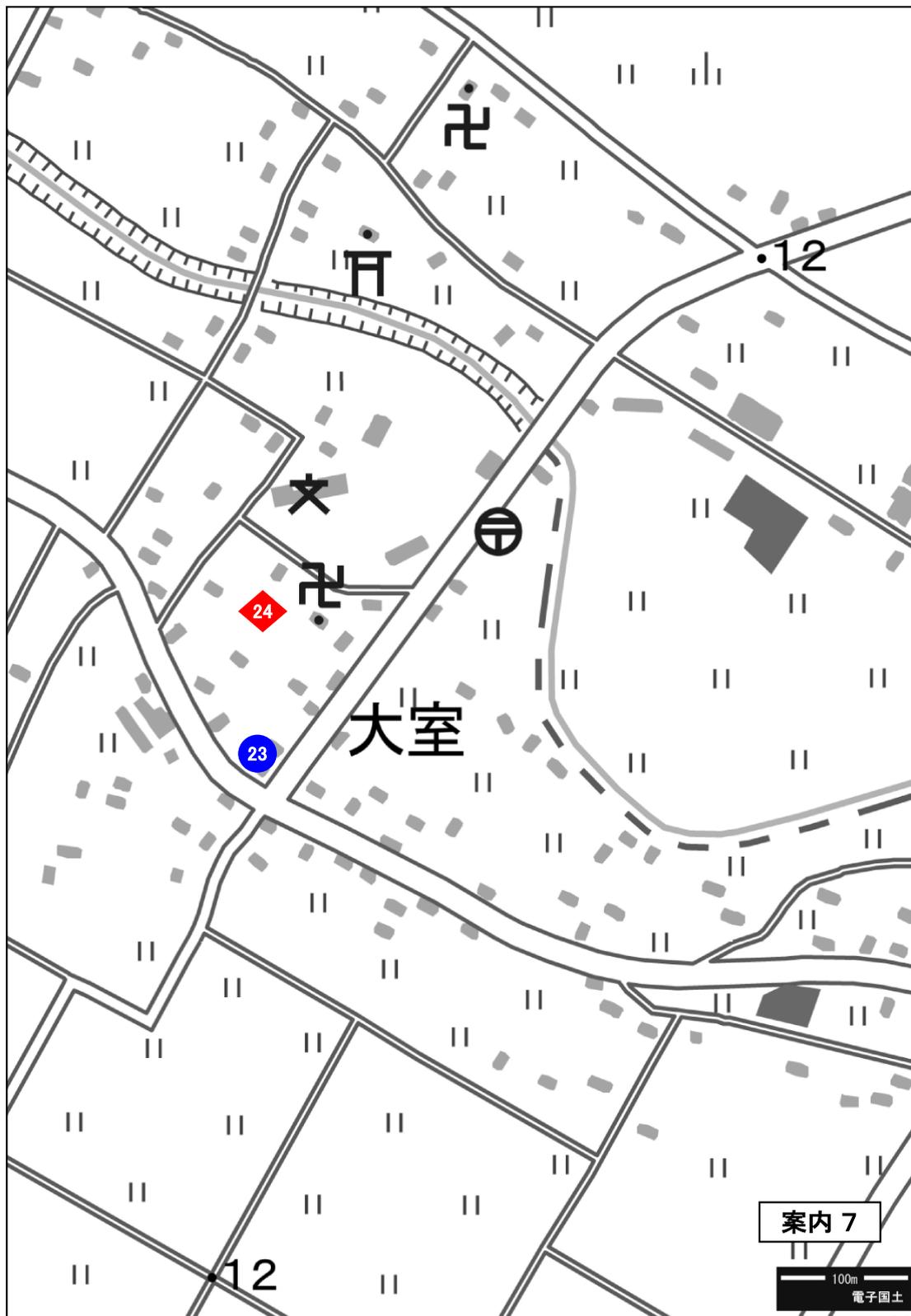


その他の建造物



通り・広場・樹木他

加須



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

加須



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

## 加須

### 総願寺



加須周辺は利根川の豊かな水と関東平野の肥沃な大地に恵まれている。江戸期は利根川を利用した水運の町、また中山道と日光街道を結ぶ宿場町、そして関東三大不動尊の門前町として栄えた歴史をもっている。現在では全国一の生産量の鯉のぼりの製造を誇っている。また剣道具、公式野球ボールや、関東では珍しい本格的な“手打ちうどんのまち”としても知られている。

(写真は加須市不動岡付近)

1

### 会の川親水公園



市内を東西に長く、西は上之橋、東は金兵衛橋まで400mにまたがって流れる会の川。市街地を通る川沿いは公園に整備されている。数十種の樹木が植えられ、鯉のぼりを象った噴水とせせらぎのある市街地のオアシスとして市民に親しまれている。

2

### 店舗



加須の駅から北に延びる大通りは、派手な看板が軒を連ねる商店街。その中で、銅板をタイルのようにカットし張った意匠的な看板建築の時計屋さんは高級感が漂っている。緑青と金文字が、とても相性が良い。

3

### 住宅



大きな病院の裏に全体的なトーンが赤銅色のお屋敷があった。屋根の複雑さも手伝って、格好良く品格高い建物である。

4

### 蔵



元は酒造業を営んでいたという建物。

5

### 路地



古き良き素敵な民家が路地に並ぶ。駅に近いため、背後には大規模建築が迫っている。

6

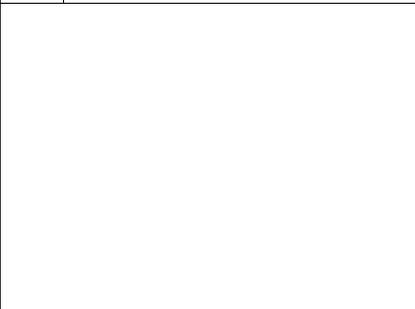
### 病院



大正時代を象徴する独特な西洋風の造りの医院で、モダンで落ち着いた雰囲気を与える。大正10年頃熊谷市の建築家が設計し、普請は志多見の大工が担当したという。

7	店舗	8	店舗	9	蔵
					
<p>現在の店舗は向かいのビルに移っている。2階に取り付けられた看板の旧漢字と、緑青に変色した雨戸が時間の経過を想わせる。また、金文字で店名の入った硝子戸が、昔ながらの商家の風情を醸し出している。</p>		<p>通達や禁制を掲げる高札場があった、通称『大辻』と呼ばれた交差点沿いにある。瓦屋根の立派な木造家屋。</p>		<p>1862年に江戸日本橋で製作され、明治期になって電話線等のために町内を引き回すことができなくなった山車を1883年に清水善兵衛が買い、この蔵に保存している。 軒高のある蔵は両開きの窓が開かれていることで、より迫力が増して見える。</p>	
10	店舗	11	店舗	12	店舗
					
<p>土蔵造りの店舗。通りに面して土間と店座敷があり、その奥に居住用の座敷、その裏に蔵が配置されている。かつてこのあたり一帯には多くの繊維業者が軒を連ねており、今もその名残を強く残している。</p>		<p>繊維製品卸商を営む店。二階部分のセットバックにより送り出される一階部分の屋根が印象的な商家。</p>		<p>武州藍を取り扱う店。木製の枠で組まれたガラス戸が印象的な商家。</p>	
13	店舗	14	店舗	15	病院
					
<p>本町交差点にある米穀店。なまこ壁風のデザインの外壁と2階の格子戸が町並みに溶け込んでいる。</p>		<p>東武伊勢崎線の北側に位置する本町界隈は伝統ある商店が軒を連ねている。 街道に面した店舗の奥には木造家屋が並んでいる。</p>		<p>木造洋風建築の医院。2階の細長い縦開きの窓が印象的である。1階の窓は広く取られており、格子が組まれている。 瓦屋根の上に取り付けられた、避雷針がめずらしい。</p>	



25	花崎城跡	26	古河城の門	27	門				
				<p>花崎城は、戦国期の加須の歴史の貴重な資料として、市の指定文化財となっている。城跡は東武鉄道で南北に区切られており、堀や土橋が残る『城山公園』として市民に親しまれている。</p>		<p>明治6年頃古河城取り壊しの際に譲り受け、この地に移設した門。長屋門とは異なる鉄鋳、兆番等の金具や黒々とした門扉の重厚な造りは、広々とした田園風景の中でひととき目を引く。</p>		<p>門を取り囲む松の枝ぶりも見事である。奥には大きな木造家屋が建ち並んでいる。</p>	
28	斉藤与里の生家跡	29	浮野の里						
				<p>下樋遣川地区の広々とした田園を背に青々と茂る大きな森が、洋画家で名誉市民第一号の斉藤与里の生家跡。屋敷は市が買い取り、遺徳を偲ぶ記念公園として植栽を整理し門を修復。池も設けられており、自然林の趣き。詩情豊かな場所である。</p>		<p>クヌギ並木や屋敷林、田堀など、後世に残したい田園風景がある。この湿原はその希少さから『緑のトラスト保全第10号地』に指定されている。</p>			